

奴隸達の王

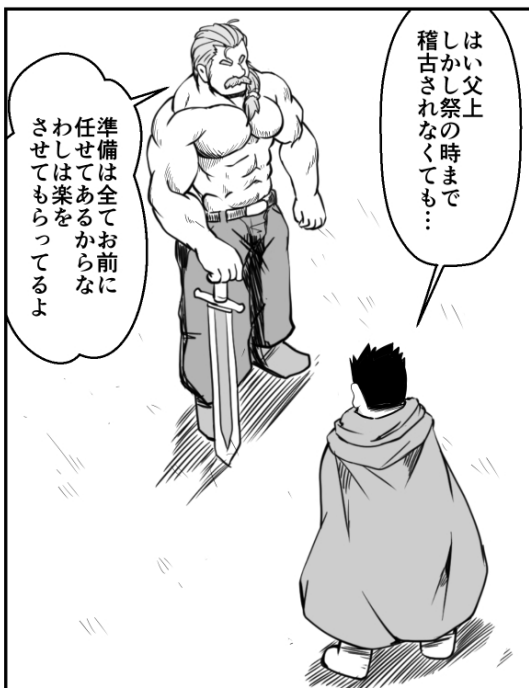




おいおい
二人の時は
国王はよせ

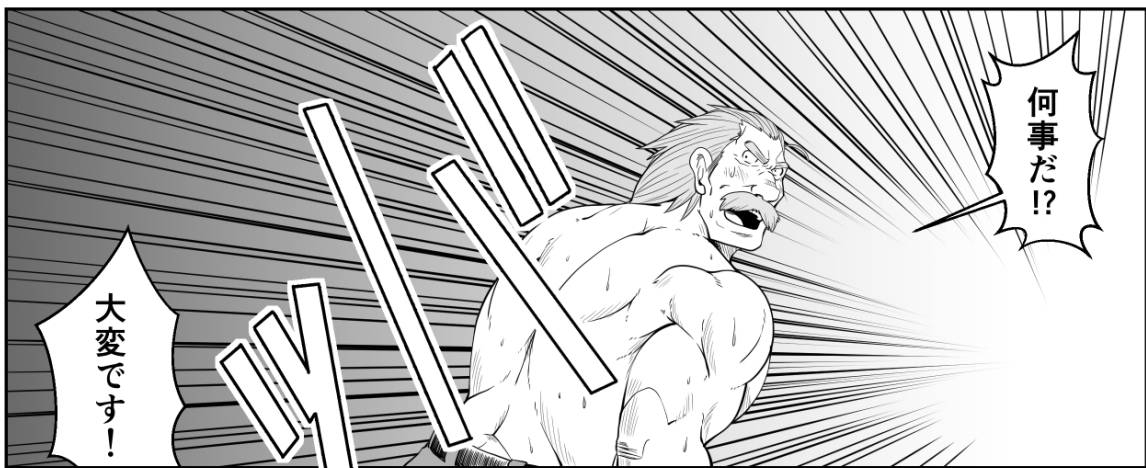
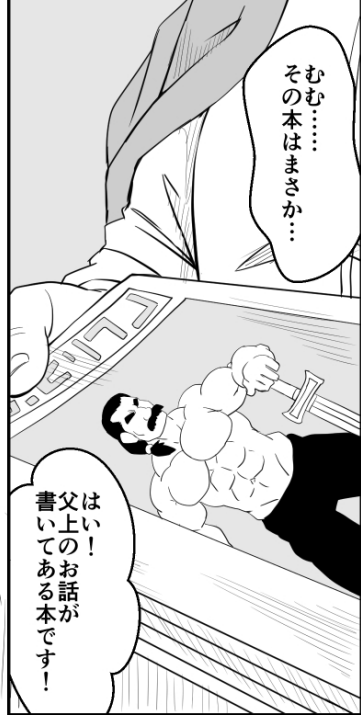


国王陛下!



はい父上
しかし祭の時まで
稽古されなくても…

準備は全てお前に
任せてあるからな
わしは楽を
させてもらってるよ





ドワーフの大群が
攻めてきましたっ！

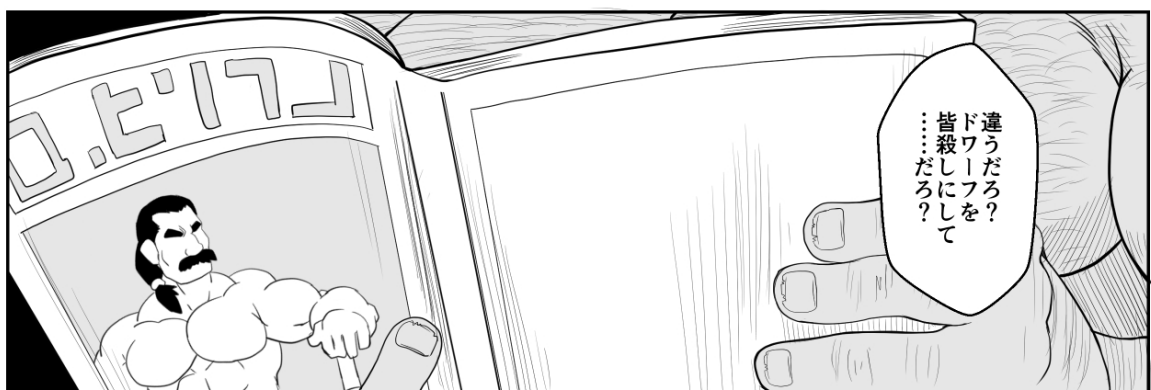
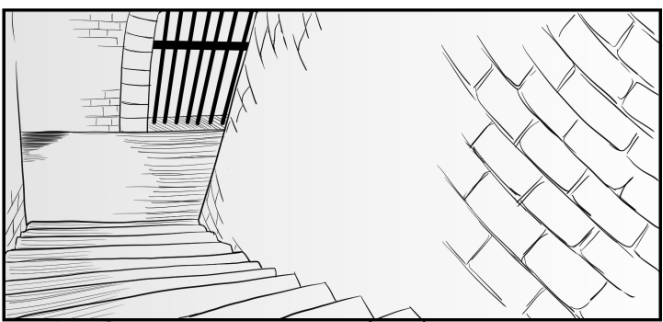


うわあああ...

だ...だめです！
もう城門が
突破されて...



『こうして英雄は
ドワーフを
追い出して？』



違うだろ？
ドワーフを
皆殺しにして
...だろ？



まあ……
俺みたいな
生き残りも
いるけどな？

カッ



貴様らドワーフから
我ら人間を
奴隷としたからだろう……

おいおい
それはおい
前らが
望んでな
ったも
ん
だ
ら
う
？



あんっ?
短命な人間は
忘れてしまったのか

な……なにを
勝手な事を!

ここは元々俺たち
ドワーフの国だった

そこに人間が来て
自ら奴隷にしてくれと
言ってきたんだろうが

カッ……



そこまで言うなら……
おい!こいつの
処刑は中止だ……

おっ?
どうするんです?



お前らは
自分たちから懇願して
俺らドワーフの
性奴隷になったんだぞ?

せ……性っ!?
そんな戯言
誰が信じるか!



こいつに人間の本性を
教えてやる……

れっお



俺に触られて
勃起させてんだ
世話ねえな？

こ……
この畜生が……っ！

ぐりぐり



か!?

ほれっ！
ちやんと中まで
塗ってやるからよ

ぐりぐり

ぐりぐり

ぐりぐり

ぐりぐり



へへ……っ
その畜生に……

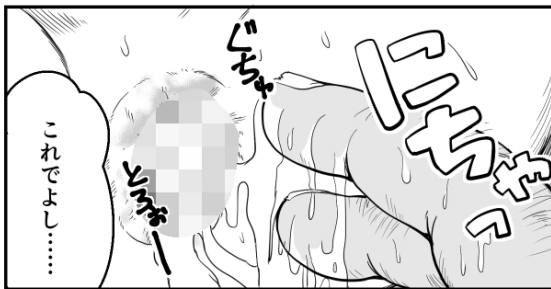
ぐりぐり

魔羅どころか
尻穴まで
曝け出されてるぜ？



く……
ぐうう……っ！

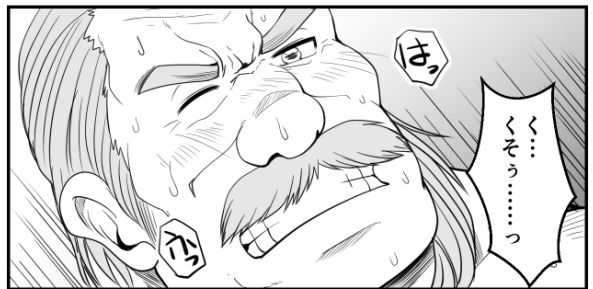
ぐりぐり



これで……

ぐりぐり

ぐりぐり



は

く……
くそう……っ



はあ…
はあ…

それまで薬の効果で
楽しんでくれや…



明日また来て
やるからよ



しごきたくて…
たまらん…っ!



年甲斐もなく
こんなに欲情させて…



か…痒い…
熱い…っ



奴らの思うつぼ…っ

だが自慰
などしたら…